「特区」認定、障害者の将来開け

施設社長奮闘 ワイン造りで雇用を

伊勢市が国に申請していた構造改革特区計画「伊勢わいん特区」が、3月31日付で認定を受けた。障害者の雇用環境の改善につなげようと6年ほど前から地元でワインぶどう栽培に取り組む「ケアプロフェッショナル」（伊勢市村松町）の岩崎直明社長の強い思いが、認定を後押しした。伊勢産ワイン醸造に向け着々と歩を進める岩崎社長は、「障がい者のための取り組みは、地域の未来につながると信じている」と語る。【小沢由紀】

特区認定を喜ぶ「ケアプロフェッショナル」の岩崎直明社長（左）と中里佳寛副社長＝伊勢市御薗町のぶどう園で

ワイン特区は、国の構造改革特区制度で、酒税法の特例措置によって果実酒の製造に参入しやすくなる区域。通常は年間6キロリットル製造する必要があるが、特区では年間2キロリットルに引き下げられ、市内で栽培・収穫されたワインぶどうを原料にすることを条件に、少量からの醸造が可能になる。

「ケアプロフェッショナル」は、2013年に設立。県内4カ所で障害児の放課後デイサービス施設を、6カ所で高齢者リハビリ施設を運営している。ブドウ栽培のきっかけは、運営する障がい児の放課後デイサービスに通う子どもたちの保護者の「この子たちが18歳になったら、社会に出なければならない。将来を思うと不安でたまらない」という声だった。

不安を募らせる背景には、成人した障害者の経済的な基盤の弱さがある。県によると、21年度の就労継続支援全施設の1カ月の平均賃金は3万4069円。雇用契約を結ぶA型事業所で平均月7万7607円、雇用契約を結ばないB型事業所では同1万7305円で、障害者年金を合わせても低賃金にとどまる。厳しい現状に対して岩崎社長は「障がい者が社会とつながりを感じつつ、生きがいや誇りを持って働ける場所を作りたい」と考えていた。

伊勢 ブドウ栽培安定、醸造免許申請へ

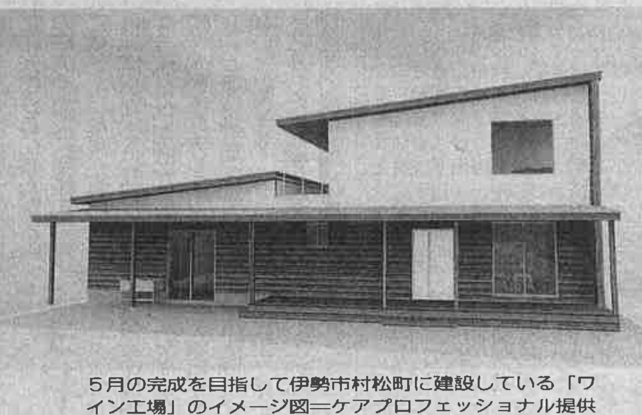
そんな時、ある一人の利用者の姿が思い浮かんだ。重度の知的障害を持つ女の子で、収穫した野菜を握りつぶしてしまう特性があった。「ブドウを潰した後に醸造する、ワイン造りができるのでは」と思い立った。

すぐに土地探しから始めた。だが、農業に関して門外漢の岩崎社長への風当たりは強く、農地の確保は難航した。障害者の雇用環境改善への思いを伝え、根気良く交渉を重ねた結果、同市御薗町の耕作放棄地10アール（1000平方メートル）を借りることができた。中里佳寛副社長と共に、岩崎社長は壊れたビニールハウスを自らの手で修復して準備を進め、県外のワイナリーのアドバイスを受けて、18年からワイン用の欧州産ぶどう品種の栽培を始めた。

雨が多く湿度が高い伊勢。当初は地植えでうまく育たず、水分量をコントロールできるポット栽培を取り入れ、液肥も独自の配合で手作りし、既存の設備を活用したオリジナルの水やりと施肥システムを構築した。

岩崎社長は「コツコツと取り組んでいる姿を見てくれているのか、地域の農家から『耕作放棄地を使ってくれないか』と声を掛けてくれるようになった」といい、農地は今では1万3000平方メートルまで広がった。栽培の経験とノウハウを蓄え、安定して栽培できる地植えに切り替え、今では6000平方メートルでワイン用ぶどう2500本を、残りの畑でブルーベリーやブラックベリーを栽培している。

22年には、障がい者向けの就労支援施設「ジョブスタジオ伊勢」を開設した。19歳から35歳の7人が登録し、ぶどう園で一人一人の特性に合わせた仕事に励んでいる。また、「伊勢ワイン株式会社」も立ち上げ、今年5月には同市村松町にワイン工場が完成する。



5月の完成を目指して伊勢市村松町に建設している「ワイン工場」のイメージ図＝ケアプロフェッショナル提供

岩崎社長によると、4月中に醸造免許を申請する予定だ。「市をはじめ、協力してくださるたくさんの方々のおかげで、念願のワイン醸造に手が届くところまできた。栽培から収穫、醸造、販売までさまざまな仕事が生まれることで、障害者一人一人の特性を生かせる場が増える」と力を込める。

同社の取り組みに、地元の新たな魅力作りにつながるとして、行政も期待を寄せる。伊勢市産業観光部の宮本晃理事は「岩崎社長の情熱がワイン特区申請のきっかけになった。伊勢にはすでに地酒の日本酒、焼酎、ウイスキー、ジンがあり、ワインが加わることでより幅が広がり、観光客に喜ばれる。障がい者の雇用の場としても、今後の展開を見守っていきたい」と話す。

伊勢産ワインの醸造は、早ければ今年秋の収穫分からスタート。熟成させ、24年からの販売を目指している。

子育て支援に注力

を進めることが大事
だ」と述べた。さらに

感を持って取り組みた
い」として、子育て支

「今までと違い、自由
度の高い政策を掲げて

として対応にあたった
西春日井広域事務組合

Ho

第75回JABA
ス杯争奪全国社会
（日本野球連盟東海
毎日新聞社主催）
5日、岐阜市の長
大垣市北公園野球
内2球場で行われ
を中心に全国から
参加し、熱戦を
1日と5日には来
多彩なイベントも
会を盛り上げる。
16チームが4チ
ブロックに分かれ
グを戦い、各1位
決勝トーナメント
勝チームには、11
の日本選手権への
えられる。

天気

地点	気温	降水確率	6	9	12	15	18	21	24時	あすの予報
津	22/12℃	0%	↘	☀	☀	☀	☀	☾	☾	☀ 21/13℃ 10%
四日市	23/9℃	0%	↘	☀	☀	☀	☀	☾	☾	☀ 21/11℃ 10%
伊勢	23/11℃	0%	↙	☀	☀	☀	☀	☾	☾	☀ 22/12℃ 10%
尾鷲	22/11℃	0%	↖	☀	☀	☀	☀	☾	☾	☀ 22/13℃ 10%

洗濯	花粉	紫外線
4 よく乾く	1 少ない	3 強い
4 よく乾く	1 少ない	3 強い
4 よく乾く	1 少ない	4 非常に強い
4 よく乾く	1 少ない	4 非常に強い

□のち　□一時・時々　↑正午の風向き　5㍍以上　5㍍未満

あすのこよみ　4月28日
週間予報（津）　29日　21/13℃
天気欄　表示の説明